

各位

会社名 ピープル株式会社
 代表者名 取締役兼代表執行役 桐渕真人
 (JQ 7865)
 問合せ先 IR担当 飛田留美子
 電話 03-3862-2768

2022年1月期通期業績予想との差異に関するお知らせ

2021年12月2日付当社「2022年1月期 第3四半期決算短信(非連結)」において発表いたしました2022年1月期通期(2021年1月21日~2022年1月20日)の業績予想について、下記のとおり実績との差異が生じたためお知らせいたします。

記

1. 2022年1月期 通期業績予想と実績の差異等 (2021年1月21日~2022年1月20日)

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|---------------------------|-------|-------|-------|-------|----------------|
| 前回予想(A) (2021年12月2日発表) | 5,283 | 426 | 423 | 262 | 円銭 60.00 |
| 今回修正(実績)(B) | 5,481 | 510 | 496 | 343 | 78.52 |
| 増減額(B-A) | 198 | 84 | 73 | 81 | 18.52 |
| 増減率 | 3.8% | 19.9% | 17.3% | 30.9% | 30.9% |
| (ご参考)前期通期実績 (2021年1月期) | 4,478 | 490 | 475 | 329 | 75.23 |

2. 予想との差異の理由について

当初の通期業績予想時におきましては、国内販売の年末商戦動向と海外販売の輸出状況が不透明であったことから、直近で見通せる範囲のクリスマス商戦前段階までの売上予想に留まりました。しかし、年末商戦においては当社の既存定番品を中心に流通の期待が高まったこと、輸出では期末日までにおおむね計画通りに出港できたことで、通期売上高は当初予想より3.8%増加の54億81百万円となりました。

売上高が予想を上回ったことで、営業利益、経常利益も予想を上回りました。また、当期内に計画していた米国子会社の閉鎖の法的手続きが米国でのコロナの影響等により大幅に遅延し、当期末日段階で完了できなかったことから、過去の当該子会社減損時の税効果会計処理に伴う繰延税金資産の取崩しが次期以降となり、当期については法人税等調整額を含む法人税等合計額が当初の見積額より大幅に減少した結果、当期純利益につきましては、予想時より30%を超える実績となりました。

以上